

松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第 119 号

<https://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 令和 8 年 7 月 25 日

お盆のころ

は一族のご先祖をお迎える大切な仏事となっております。

八月のお盆を迎える頃になると、仏壇を清め、お墓参りの準備をされるご家庭も多いことでしょう。迎え火を焚き、ご先祖さまをお迎えし、家族が集まって食卓を囲む——こうした風景は、昔から日本人の暮らしの中に受け継がれてきた大切な習わしです。



私たちは、自分一人の力で生きているわけではありません。父母があり、祖父母があり、そのまたご先祖がおられたからこそ、今ここに自分の命があります。一人の命の背後には、数え切れないほど多くの命のつながりがあります。お盆は、その尊いご縁に感謝し、「いただいた命」を見つめ直す機会でもあります。

仏教では、「供養」とは単に亡くなった方へ食べ物や花を供えることだけを意味するものではありません。感謝の心をもって手を合わせ、仏さまの教えに触れ、自らも善い行いを積み、その功德を亡き人に回し向けることが本当

の供養です。そして、その心は身内だけに向けられるものではなく、有縁・無縁を問わず、すべての精霊に平等に及ぶ慈悲の心であることが大切です。

現代は、物に恵まれ、不自由の少ない時代になりました。しかし、その一方で、心の寂しさや孤独、不安を抱える人は決して少なくありません。身体の渴きは水で潤すことができますが、心の渴きは物だけでは満たされません。だからこそ、宗教には、人の心に寄り添い、悲しみを受け止め、生きる力を育むという大切な役割があります。

お盆に仏壇やお墓の前で静かに手を合わせる時間は、亡き人を供養するだけではなく、自分自身の心を調え、命の尊さを確かめる時間でもあります。ご先祖さまから受け継いだ命に感謝し、その命を次の世代へとつないでいくことこそ、お盆の心ではないでしょうか。今年もどうぞ、ご家族そろって仏前に手を合わせ、ご先祖さまへの感謝を新たにし、命の尊さをかみしめるひとときをお過ごしください。

先住瑞峰和尚25回忌・先住寺庭17回忌法要を厳修

教区内外の和尚さま方はじめ総勢50名余りが随喜焼香

令和8年5月30日（土）午前10時より、当山において先住瑞峰和尚25回忌ならびに先住寺庭（久子儀）17回忌法要を厳修いたしました。

当日は、朝来市和田山町・瑞泉寺住職の長



▲多くの和尚さま方にご随喜いただきました＝5月30日



▲先住の頂相（ちんそう / 肖像画）

潤し、その教えに触れる者の姿は菩薩のように穏やかである」との意が込められた香語であり、先住瑞峰和尚ならびに先住寺庭の遺徳を讃え、そのご恩に報いる法要にふさわしいお言葉でした。

続いて楞嚴行道（楞嚴呪を唱えながら堂内を巡る法儀）が厳修され、参列者一同、焼香をもって先住瑞峰和尚ならびに先住寺庭のご冥福を祈りました。二人が長年にわたり当山の護持発展に尽力し、檀信徒の教化に心を尽くした功績を偲び、その遺徳にあらためて感謝の念を深める尊いひとときとなりました。

ご多忙の中、ご参列、ご焼香を賜りました皆様にご心より厚く御礼申し上げます。

田英俊和尚を導師にお迎えし、法類寺院をはじめ教区内外より26名の和尚様方のご随喜を賜りました。また、総代（責任役員）をはじめ、親族、ご縁の皆様にもご参列いただき、厳肅かつ荘厳な雰囲気のもと、法要を円成することができました。

法要では、ご導師の長田和尚様より、

萬緑薫風石室山 相逢此日古堂閑

師翁說法開慈眼 甘露法門大士顏

との香語が捧げられました。

「万緑の薫風が吹き渡る石室山の古堂に集い、師の說法によって慈悲の眼が開かれる。仏法は甘露のように人々を



▲行道＝僧侶が読経を唱えながら本堂内を歩きます



先住瑞峰和尚、先住寺庭が遺した志を大切に受け継ぎ、これからも仏祖の教えを護持し、檀信徒の皆様とともに歩む寺づくりに努めてまいります。

合掌

薬師祭 参る人みな 和顔かな

栗尾ふるさと委員会が「薬師祭」を主催

梅雨が明けてから連日の猛暑日ですが、例年の「薬師祭」を7月12日（日曜日）の午後に執り行いました。主催する「栗尾ふるさと委員会135」（委員長・藤田正一さん）の

皆さんには、午前中から準備にかかっていただき、後片付けまで汗ビツシヨリになりながらお世話になりました。

午後1時から本堂にて数人が写経に臨まれました。午後2時には薬師堂にて法要を行い、参拝者皆さんで般若心経三巻を読経し、焼香していただきました。終わって本堂において茶話を開きました。今年は新たに設置したエアコンのお陰で、涼しいひと時をお茶とお菓子で過ごしていただきました。午後3時過ぎには、お薬師様にお供えた餅を参拝者で分かち合いました。

応病与薬、薬師如来の大願に触れながら、今ある暮らしに感謝する一日でした。



▲ユリとヒマワリが薬師堂を彩りました



▲旗の準備に勤しむふるさと委員の皆さん



▲炎天下のもとでテントの組み立ても大変でした



▲冷房の効いた本堂での茶話会

人天蓋修復のご寄付

ご協力ありがとうございました

本堂中央天井に吊り下げられた人天蓋の修復については、前号（第118号）で修復完成をお知らせいたしましたが、実に多くの皆さまのご協力を得られました。募金総額は、6百97万円で、人天蓋修復も無事円成いたしました。今回の修復に要した経費は、約



▲約 86 年前の輝きを取り戻した人天蓋

4百20万円でした。よって、志納金の残額は、引き続き本堂の改修費用に充てさせていただきますこと、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

ここに志納

いただいた皆さ

ま方のお名前を公

表しお礼に替えさ

せていただきま

す。

寄付芳志者名

（敬称略・順不同）

【栗尾】

山下 信男

藤田 優

藤田 浩樹

渡辺 富夫

森岡 保徳

森岡 明美

酒井 八重子

中島 敏幸

田中 重雄



柴田 巧

森下 秀夫

柴田 秀幸

藤田 勝

岡畑 真由美

西垣 源正

西垣 一博

西垣 有朋

中島 一之

西垣 秀昭

西垣 章一

西垣 直人

西垣 勝美

西垣 芳典

武田 重教

武田 達夫

武田 恵喜

平石 義信

松本 文男

藤田 正一

松本 清規

柴田 幸博

松本 文夫

松本 貞之

水縄 誠

【佐田】

中島 義高

横谷 憲治

中島 信之

三浦 三郎

堂本 昌彌

【久畑】

浅田 英稔

浅田 鑑三

浅田 眞知子

藤田 久美子

藤田 滝夫

【平田】

福田 春彦

福田 達也

【佐々木】

榎本 新二

榎本 弘明

久世 善樹

【南尾】

渡邊 一義

【出石町】

福富 省吾

【豊岡市】

山下 佳子

中島 良章

柴田 嘉代子

榎本 博光

【朝来市】

森下 宏治

【福知山市】

西本 武紘

福田 茂樹

【但馬外】

中島 英三

栗田 義一

栗田 耕作

栗田 俊信

加藤 和子

山下 正人

松下 弘子

中島 利樹

榎本 秀二

藤井 順子

岡田 和男

木村 利行

福田 紀美子

◎志納者 七十二名

◎募金総額

六百九十七万円

第1回境内掃除

ご協力ありがとうございました

本年度第1回の境内掃除を5月24日（日曜日）に行いました。午前8時から約2時間、草刈りのほか本堂のガラス窓拭きに精を出していただきました。今回は、総代6人と清滝1人、本城2人、柴地1人、大貝1人、佐田1人、石原2人の評議員と有志の皆さん、併せて14名の皆さんにご参加いただきました。ありがとうございます。



第2回の境内掃除は、7月26日（日曜日）午前8時より、上山根、下山根、貝田、平田、中路、宮本、檜谷の評議員の皆さま方、よろしくお願いいたします。

本堂にエアコン設置

ありがたいお知らせです。

当山では従来から、客間にはエアコンを設置していましたが、本堂は夏の間も自然暖房（？）の状態となり、特に施餓鬼会などは参拝者皆さんに大変暑苦しい思いを辛抱して



▲本堂西側に壁掛けのエアコンを2台設置



▲本堂東側に据え置きエアコンを2台設置



いただいております。特に近年の夏は、猛暑、酷暑と言われるほどの厳しい天候となっています。

そこでこの度、本堂天井改修工事に伴い、本堂内に4台のエアコンを設置いたしました。

これで、お盆の施餓鬼や真夏の法事や行事等、また残暑厳しい秋の彼岸にも涼しくお過ごしいただけるかと存じます。

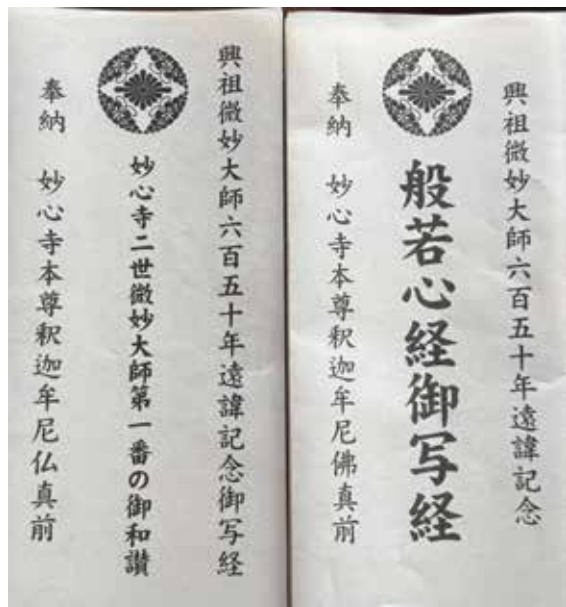
まずは、涼しいご報告をさせていただきます。

興祖微妙大師六百五十年 遠諱写経のお願い

臨済宗妙心寺派ではこの度、興祖微妙大師六百五十年遠諱という大きな節目を記念し、写経を推進しています。

ついでには、檀信徒皆様に写経用紙『般若心経』と『二世微妙大師第一番の御和讃』の2枚をお配りしています。微妙大師への報恩感謝を捧げるとともに、世界平和や皆様のご先祖供養、諸願成就を願い、心を込めて写経に親しんでいただければ幸いです。

写経は一卷につき納経料1千円を添えて松禪寺までお持ちください。この写経は、妙心



寺微妙殿に奉納されます。期間は令和9年3月31日まで。

なお、この写経はけっして強制するものではありません。



写経のいろは

読むときは有る文字を読む
書くときは無い文字を書く

有る文字を見ながら無い文字を書く

だれに読んでもらうわけではないけれど
何に役立てるといふわけではないけれど

無から生まれた文字を一心に象るとき

あなたは

お釈迦さまのことばを

あなたの目と手で聴いている



【俳句】

眠り得ぬ夜に見る梅雨の街明かり
腹這ひて日記書く夜の暑さかな
三密に耐へて子燕巢立ちけり

句集『五月晴』著者・水縄松生

読みとれぬ先祖の墓や木下闇

丹波より湧き起りたる雲の峰

風鈴に団扇の風を送りけり

先住・高橋英州

【短歌】

先生と呼吸を合わせて枹を振る夏空高く
園児の太鼓

どちらかが一人となりて墓掃除をする日
がくるとぼんやり思ふ

帰省して三週間を過ごせども近所に子ら
の姿ついに見ず

太田弘美 つくば市

※俳句、短歌、川柳などをお寄せください。

松禪寺・桂昌寺花園会主催

興祖微妙大師六百五十年遠諱大法会 大本山妙心寺参拝のご案内

～ご案内～

拝啓 檀信徒の皆様におかれましては、益々ご清祥にてご活躍のこととお慶び申し上げます。
平素は菩提寺と本山の護持に多大の御尽力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、松禪寺・桂昌寺花園会では**興祖微妙大師六百五十年遠諱法会団体参拝**を計画いたしました。今年は遠諱事業特別企画として花園大学内の**花園大学歴史博物館**見学をいたします。
皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。 合掌

◆期 日 令和8年10月26日（月）日帰り

◆旅 費 ￥13,000-（団体運経料3,500円含） ◆募集人数30名

★遠諱参拝記念として輪袈裟、トートバック、朱印帳のどれか一品がいただけます。
申込書にご希望の品をご記入下さい。

◆申込方法 令和8年**9月20日**までに**旅行費用に申込書、参拝之證**
（お持ちの方）を添えて松禪寺までお申し込み下さい。
詳しいご案内は出発日の一週間位前にご連絡申し上げます。



【大本山妙心寺】

◆旅程 全行程貸切観光バス利用

各地区＝（京都縦貫道）＝京丹波PA＝**大本山妙心寺**（法堂拝観・団体運経 11:00～）…
7:00 頃発 9:05～9:20 10:20 着
…徒歩…花園会館（昼食・休憩）＝**花園大学歴史博物館（DVD鑑賞と見学）**＝
12:25～13:30 13:40～14:30
＝（京都縦貫道）＝京丹波PA（休憩・買物）＝各地区
15:30～16:00 ～17:50 頃着

※旅程は道路事情などにより多少変更が生じる場合があります。ご了承下さい。

※キャンセルされる場合は、出来る限り代わりの方のご参加をお願いします。

令和8年度 遠諱参拝記念品（3品よりいずれかを選択）



遠諱記念特製輪袈裟



遠諱限定御朱印帳

遠諱限定
トートバック

◆お申込み・お問い合わせ

松 禪 寺

〒668-0363 豊岡市但東町栗尾469

TEL: 079-655-003

■企画手配旅行業者

（株）ビーエス観光名古屋営業所
〒460-0022 名古屋市中区金山2丁目1-24
五藤ビル 4F ☎052-332-1261
担当: 田村 正人

順番	施主	住所
1	山門施餓鬼、添施餓鬼	
2	武田 恵喜 家	栗尾
3	藤田 大助 家	久畑
4	栗田家(衣川様)	平田
5	鶏魂供養	栗尾
6	岡田 和男 家	横須賀市

お せ が き

8月7日（金）

午前 10 時より



参拝者にはペットボトル茶をご用意しています

施餓鬼会は、お釈迦様の十代弟子のお一人、阿難尊者の故事により、飲食供養の功德により亡者を救う行事として起こったものです。「餓鬼に施す」と書きますが、餓鬼とは六道（地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、人間道、天上道）のひとつで、苦しみの世界であり、食べ物が無い飢えの世界なのです。しかも、餓鬼は自分の力で餓鬼世界から抜け出すことができないため、施餓鬼供養がその救いの道とされています。有縁はもとより、無縁の衆生に対しても供養する法要であり、自分自身に与えられた生命に感謝する意味合いもあります。

今年も多数の和尚様により法要を執り行います。施餓鬼はもともと初盆など特定の霊を供養するだけのものではなく、ご先祖様を始め、志す精霊にご供養することによって施主皆様の現世安穩が得られるといわれています。

大変暑い時期ではありますがありますが、先祖供養のために多くのお参りをお待ちしております。

なお、施餓鬼会の日程と今年初盆を迎えられる方は上表のとおりです。



まもなくお盆を迎えます。お盆は、普段から何も催促なさらないご先祖さまとの語らいの時でもあります。8月13日が迎え火にあたり、16日が送り火です。お墓をきれいに掃除して、ご家庭では仏壇を丹念に掃除して、お花、ろうそく、お線香、果物、お菓子、季節の野菜などを供えます。

お寺からは、8月8日から13日まで、棚経といって各檀家を廻って回向いたします。右表の日程で参る予定ですが、諸般の都合から急遽変更する場合もありますので、あらかじめご了承ください。朝から廻りはじめますが、後半は午後になります。

令和 8 年度 棚経の日程（予定）

棚経実施日	地 域
8月8日（土）	（遠方）
8月9日（日）	清滝→本城→柴地→山根→貝田
8月10日（月）	久畑→石原→佐田→大貝→平田→佐々木
8月11日（火）	南尾→出石町（午前）
8月12日（水）	豊岡市→和田山町→福知山市→岩滝
8月13日（木）	西谷